

## は し が き

昭和48年度における社会科定期研修員の研修成果の一つを「実践研究集録第11集 社会科編」として刊行いたします。

社会科定期研修では、先年度以来、教育現場の授業の実際の中にある現実的、かつ、原則的な社会科指導上の問題を取り上げ、まず、研修員自身の指導力の向上、日々の授業の改善というところに主眼を置き、実践的な研究を続けて参りました。先年度は、「教師の働きかけの根拠を明確にした指導」を主題にしましたが、今年度は、「社会科における思考力の育成とその評価」を主題にし、特に、思考力をペーパー・テストで評価するには、どのような問題作成がよいか、留意すべき点は何かなどを解明しようとしてしました。時機的には、通知表の意義などの問題に関連して、成績評価の仕方、ワークブックの使い方などが、ジャーナリズムをもにぎわわせ、教師作成テストの必要性、重要性がいっそう強調されて参りました。また、一方、知的な内容の一方的な注入に対する反省として、ますます、社会科の能力育成、とりわけ思考力の育成ということが重視されて参りました。この研修では、このような二つの大きな課題を一つにして、社会科の指導を総合的に検討し、直接的には、思考力のペーパー・テストという論文にまとめたものであります。

研修員のかたがたは、それぞれ、学級担任、社会科担任などとして、学校や地域で重要かつ繁忙な仕事もちつつ、しかもこの研究と実践に心血をそそいで論文をまとめあげられたものであります。このような研修員のかたがたの努力に対し、こころからの敬意を表したいと思います。

終わりに、校務多端のところ、こころよく研修の機会と多大の便宜等をお与えくださいました校長先生や諸先生がたに対し、研修員とともに厚く感謝の意を表わします。

昭和49年1月20日

新潟県立教育センター所長 竹内豊治